令和４年度事業報告

■事業実施状況の概要

令和４年度事業計画に基づく事業実施状況概要を下表に示す。

令和4年度　事業計画実施状況

項目	実施状況
1.広報・出版活動	
1)「環境技術会誌」季刊発行	
第187号（令和4年 4月）	・発行済（特集：脱炭素－廃棄物系バイオマス利用技術の動向）
第188号（令和4年 7月）	・発行済（特集Ⅰ：脱炭素-廃棄物からの物質回収技術の動向、特集Ⅱ：廃棄物処理施設と市民啓発・環境教育）
第189号（令和4年10月）	・発行済（特集：脱炭素－廃プラスチックリサイクルの現状と今後の動向）
第190号（令和5年 1月）	・発行済（特集：脱炭素－廃棄物高効率発電等のエネルギー利用の動向）
2)ホームページの運営	・随時更新
3)メールマガジンの配信	・毎月1回配信（通巻No172　3月号まで配信済）
2.研修会・講習会の実施	
1)廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会	・第43回（令和4年度）中央研究集会　テーマ「脱炭素－廃プラスチックリサイクルについて考える」令和4年11月８日13-16時実施（11月１日リハーサル）
2)技術管理者等CPDSの実施	・会員対象限定のWeb講習会（参加無料）「廃棄物処理に係わる最近の動向」開催（令和4年9月29日（木）10-15時）
3)技術管理者等スキルアップ研修会（(一財)日本環境衛生センター共催）	・令和4年11月16日（水）～11月18日（金）、日環セ西日本支局（福岡） ・令和4年11月30日（水）～12月２日（金）、岡山国際交流センター（岡山） ・スキルアップ研修会福岡会場分；オンディマンド配信（2月6日～3月6日）
3.各種表彰	
1)環境大臣表彰	・石原純氏（一廃）、前田岳司氏（産廃）の2名を廃棄物関係事業功労者推薦・表彰 ・石井美也紀氏を廃棄物・浄化槽研究開発功労者研究部門で推薦・表彰
2)生活と環境全国大会大会長感謝状	・鈴木完司氏を推薦・表彰
3)会長感謝状	・波田野和夫氏、金子仁哉氏2名が受賞（直接表彰状・副賞送付済）
4)年間論文賞	・令和5年2月27日に論文審査委員会を開催・選考し、第4回運営委員会（3/9）で承認された。
4.地区協議会への支援 1)助成金 2)講師派遣 3)その他	・地区協議会へのアンケート纏め後、ヒアリング等を実施 ・各地区協議会に対して、行事・講師派遣並びに財政的支援を実施 1)助成金：山梨県、茨城県、東京都、滋賀県、山形県　交付済 2)講師派遣依頼：山梨県（日環セ佐藤幸世理事を推薦・実施） 3)総会への出席依頼：東京都（10/28；羽染専務挨拶、石黒顧問講演）

令和4年度 事業計画実施状況

項目	実施状況
5.環境省補助金交付事業	1)R4エネルギー回収型施設新設事業1件(R2からの継続事業2件) 2)R4エネルギー回収型施設改良事業10件(ほか継続事業17件) 3)R4廃棄物発電電力利活用設備導入事業0件(第4次公募まで) 4)R4廃棄物処理熱利活用設備導入事業2件(国庫債務負担2件)(第4次公募まで) 5)R4廃棄物処理熱等有効利用実現可能性調査事業3件(第4次公募まで) 6)R5年度間接補助事業実施団体公募に申請(1/30)し、採択通知を受領(3/17付)した。
6.技術支援事業	
1)相談業務	・数件(新潟県小千谷市など)の電話、相談(メール含む)に対応。
7.事業推進のための会議等	・第37回理事会:令和4年5月25日(連合会館) ・第38回理事会:令和5年3月23日(連合会館) ・第39回理事会:令和5年5月18日(連合会館) ・第40回理事会;令和5年6月22日(連合会館・総会終了後) ・第13回定時社員総会:令和4年6月24日(連合会館) ・第14回定時社員総会:令和5年6月22日(連合会館) ・第1回運営委員会:令和4年5月17日(日環セ東京事務所) ・第2回運営委員会:令和4年9月6日(日環セ東京事務所) ・第3回運営委員会:令和4年12月8日(日環セ東京事務所) ・第4回運営委員会:令和5年3月9日(日環セ東京事務所) ・編集委員会:令和4年11月22日(航空会館) ・論文賞審査委員会:令和5年2月27日(日環セ東京事務所)
8.関係団体への協力等	・廃団連総会・講演会への参加(6/28;柳井会長、羽染専務) ・一社)環境衛生施設維持管理業協会総会・懇親会への参加(7/8;柳井会長) ・一社)シニア・環境技術支援協会創立10周年記念への参加(7/15;柳井会長、羽染専務、古澤次長) ・全国都市清掃会議理事会・評議委員会展示コーナへの参加(10/27郡山;古澤次長) ・東京都廃棄物処理施設技術管理協会総会への参加(10/28;石黒顧問、羽染専務) ・全産連室石専務理事挨拶・CPDS協力依頼など(1/6;柳井会長、羽染専務)

■令和４年度事業報告

１．普及啓発事業

（１）広報・出版活動

１）「環境技術会誌」の季刊発行（４月、７月、10 月、１月）

本誌は、紙面の充実を図りながら会員へのサービス向上を目的として、年４回発行した。

本年度は、特集Ⅰとして「脱炭素」を各号で取り上げ、７月号では特集Ⅱとして「廃棄物処理施設と市民啓発・環境教育」を特別企画テーマとして編集した。

第 187 号（令和４年４月）
第 188 号（令和４年７月）
第 189 号（令和４年 10 月）
第 190 号（令和５年１月）

（主な記事）

・廃棄物処理・維持管理技術に関する特集記事、報文
・専門委員会報告
・環境省等行政資料
・国内・海外の廃棄物関連情報

２）ホームページの運営

当協会の情報公開の場として運営し、廃棄物情報の提供、会員との情報交流等を行った。

現在「会員のページ」には平成 28 年度から廃棄物処理法入門コーナー、メールマガジンのバックナンバー、調査報告書等に加え、全方位検索型環境法令集を掲載している。環境技術会誌のバックナンバーについても順次掲載中である。

３）メールマガジンの配信

季刊「環境技術会誌」の補完及び会員へのスピーディな情報発信のため、会員等の希望者には毎月メールマガジンを配信した。

（２）研修会・講習会の実施

１）第 43 回廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会（技術管理者等 CPDS 認定講習会）

本集会は、会員はじめ廃棄物処理に関連する方々を対象として最近の行政動向、最新の技術や話題の紹介を通じ、技術管理者としての資質向上を目的として開催した。

日　時：令和４年 11 月８日
会　場：WEB 会議形式にて開催、参加者約 80 人
テーマ：脱炭素-廃プラスチックリサイクルについて考える。

２）第１回会員無料講習会の実施

会員増強及び技術管理者の資質向上を目指し、会員・技術管理者を対象とした講習会第１回（パネルディスカッションを含む）を開催した。これらは WEB 会議形式で開催し、成果の一部を本協会「環境技術会誌」等に掲載した。

日　時：令和４年９月 29 日

会　場：WEB 会議形式にて開催、参加者 62 名
テーマ：「廃棄物処理に関わる最近の動向」

３）廃棄物処理施設技術管理者等継続学習認定制度（CPDS）の実施

廃棄物処理施設を適正に維持・管理するには、常に最新の維持管理技術や管理手法等を習得し、技能の向上を図ることが技術管理者にとって重要であり、平成 24 年度から実施している継続学習認定制度（以下「CPDS」Continuing Professional Development System の略）を、本年度も実施した。

この制度は、廃棄物処理施設の技術者が種々の講習会、研修会、講演会、シンポジュウムなどの受講や活動成果の発表をした場合に、それらの学習記録を残し、必要により学習履歴を証明するシステムであるが、コロナ禍による講習会開催の減少等により、活動は停滞気味である。

４）廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ研修会（技術管理者等 CPDS 認定講習会）

廃棄物処理技術に関する最新情報を提供するとともに、廃棄物処理の現場で抱える様々な課題について講師と参加者が相互に事例紹介や情報交換を行う場として（一財）日本環境衛生センターと共催して実施した。

福岡会場：令和４年 11 月 16 日～11 月 18 日
岡山会場：令和４年 11 月 30 日～12 月２日
オンディマンド配信（福岡会場分）：令和５年２月６日～３月６日

（３）各種表彰

１）環境大臣表彰の推薦

環境大臣表彰の中央推薦の基準に基づき、当協会会員等を推薦し、石原純氏（一廃）、前田岳司氏（産廃）、石井美也紀氏（廃棄物・浄化槽研究開発功労者研究部門）の３名が受賞した。

２）第 66 回生活と環境全国大会（令和４年度）大会長感謝状受領者の推薦

大会長感謝状の中央推薦枠として、鈴木完司氏が推薦され受賞した。

贈呈式：千葉県幕張メッセ

３）会長感謝状の贈呈制度

永年に亘り、会の発展に尽力した会員２名（波田野和夫氏、金子仁哉氏）に対し、会長感謝状を贈呈した。

贈呈式：中止（郵送）

４）年間論文賞（令和４年度分）の表彰制度

環境技術会誌を対象とした、会員からの優秀論文を表彰した。

この賞は年間論文賞審査委員会・運営委員会において選考・決定し、最優秀賞１編、優秀賞１編、奨励賞２編、特別賞２編、功労賞１編の合計７編を表彰した。

詳細は、委員長報告「令和４年度　年間論文賞選考結果について」を参照。

授賞式：中止（郵送）

（４）地区協議会活動への支援

地区協議会に対して、以下のように財政的支援を実施した。

１）助成金：茨城県、東京都、山梨県、滋賀県、山形県

２）講師派遣：山梨県（日環セ佐藤幸世氏を紹介）

３）総会時挨拶・講師派遣：東京都（挨拶；羽染久、講演；石黒智彦）

また、現存する９協議会にアンケートを送付し取りまとめを行い、現状の課題等を共有しながら今後の連携方法等について討議（面談・TV 会議など）し、講習会等の共催、ホームページの有効活用などを決定した。

２．調査・研究事業

（１）環境省補助金交付事業

本補助金交付事業は、廃棄物処理施設で得られるエネルギーを有効活用し、エネルギー起源 CO2 の排出抑制を図りつつ当該施設を中心とした自立・分散型の「地域エネルギーセンター」の整備を進め、さらに廃棄物処理施設で生じた熱や電力を地域で利活用することによって、脱炭素化や災害時のレジリエンス強化等にも資する取組を支援することを目的として実施している。令和４年度の新規事業としての 17 件の他、継続事業 19 件の合計 36 件の事業を実施した。

３．技術支援事業

廃棄物処理関連事業者の方々に対し、本会の長年にわたる活動実績を活かした廃棄物処理施設の計画・建設及び運営に関する技術支援業務を実施した。

また、（一財）日本環境衛生センターから技術管理者講習講師派遣依頼があり受託し、講義を実施した。さらに、講習会運営サポートの依頼を 22 件受け実施した。

４．事業推進のための会議等

（１）第 13 回定時社員総会の開催

日　時：令和４年６月 24 日

会　場：連合会館

議事等：①令和３年度事業報告の件

②令和３年度決算の件

③令和４年度事業計画の件

④令和４年度予算の件

⑤その他

（２）理事会の開催

１）第 37 回理事会

日　時：令和４年５月 25 日

会　場：連合会館

議事等：①令和３年度事業報告の件

②令和３年度決算の件
③令和４年度予算の件
④令和４年度評議員の選出の件

２）第 38 回理事会
開催日：令和５年３月 23 日
会　場：連合会館
議事等：①令和５年度事業計画（案）の件
②令和５年度予算（案）の件
③規程類変更の件
④令和５年度　理事会総会開催の件

（３）委員会等の開催
１）運営委員会：年４回開催
議　題：①組織の運営・管理に関する事項
・事業計画、予算及び決算に関すること
・会員の増強に関すること
・地区技術管理者協議会の設置、育成、強化に関すること
②会則、細則、制度、内規及びその他の規定に関すること
③研修会、講習会等の企画及び実施に関すること
④会員の表彰等の選考調整に関すること
⑤その他本会の目的達成のために必要な事業に関すること

２）編集委員会：年１回開催（令和４年 11 月 22 日；(一財）日本環境衛生センター東京事務所）
議　題：①環境技術会誌の企画、編集に関すること
②刊行物に係る業務に関すること

３）年間論文審査委員会：年１回開催（令和５年２月 27 日；(一財）日本環境衛生センター東京事務所）
議　題：令和４年度「年間論文賞」の審査

５．その他の事業

（１）「廃棄物処理施設技術管理士」証明看板の発行

６．関係団体への協力等

国をはじめ関係団体等が行う各種の活動・行事等の啓発活動等に対して協力を行った。
①廃棄物団体連合会など関連団体
②第 66 回生活と環境全国大会の協賛（会場：千葉市幕張メッセ）
③その他関係団体の行事等の協力

７．組織運営

（１）財政の健全化
１）入会促進

（一財）日本環境衛生センターの技術管理者講習修了者に対して、個人会員、団体会員及び賛助会員の入会を促進した。また、廃棄物処理に関係する団体等に対しては、運営委員・理事の協力を得て賛助会員の入会を促進した（令和５年３月末現在　41 社）。

２）新規事業の推進

令和５年度「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業）に係る補助事業者（執行団体）業務」に応募し採択（３/17 付）され、引き続き令和５年度の新規事業を行うことになった。